令和５年度消防吏員被服の納入（更新者分）
仕様書

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

総　則

この仕様書は、鳥取県西部広域行政管理組合消防局（以下「当局」という。）において調達する令和５年度消防吏員被服の納入（更新者分）の仕様について適用する。

１　品名及び数量

（１）制服及び盛夏服関係

品　名	数　量	備　考
制服上着（男性用）	４０　着	
制服ズボン（男性用）	３７　本	
制帽（男性用）	２１　個	
制服用ベルト	３４　本	（紺）
制服用ネクタイ	２０　本	（紺）
盛夏服上着（男性用）	１１　着	長袖
盛夏服上着（男性用）	２４　着	半袖
盛夏服ズボン（男性用）	２８　本	
盛夏服ズボン（女性用）	１　本	
盛夏帽（男性用）	１１　個	
盛夏服用ベルト	２０　本	（青）
盛夏服用ネクタイ	６　本	（青）

（２）活動服関係

品　名	数　量	備　考
冬活動服上着	６５　着	
冬活動服ズボン	６９　本	
夏活動服上着	１４２　個	
夏活動服ズボン	１６０　本	
活動服用ベルト	１０３　本	２ピン式

（３）救急服関係

品　名	数　量	備　考
冬救急服上着（男性用）	４７　着	
冬救急服ズボン（男性用）	３３　本	
冬救急服上着（女性用）	３　個	
冬救急服ズボン（女性用）	５　本	
夏救急服上着（男性用）	１０　本	長袖
夏救急服上着（男性用）	５３　着	半袖

夏救急服ズボン（男性用）	６０　着	
夏救急服上着（女性用）	１　本	長袖
夏救急服上着（女性用）	２　本	半袖
夏救急服ズボン（女性用）	７　個	
救急服用ベルト	４５　本	

（4）雨衣及び防寒着関係

品　名	数　量	備　考
雨衣	５８　着	上着、ズボン
ブルゾン（消防防寒衣）	４５　本	
ブルゾン（制服用防寒衣）	５　個	コート型

2　仕様

別紙仕様に合致するもの又は同等以上の性能を有するもの。

3　納入期限

令和６年３月８日

4　試作品の提出

落札者は、１０日以内に試作見本を提出し、消防局総務課係員の検査を受けること。ただし、消防局長が認める場合には、試作品の提出を行わないことができるものとする。

5　採寸

採寸については、サイズ表による試着ゲージにより、各人の着せ付け採寸を行い、入念にそのサイズを決定するものとする。

ただし、袖丈、ズボンの股下寸法については、サイズ表に示した基準にこだわらず、各人の体型に合わせて仕上げるものとする。

6　検査

検査は、外観検査及び分解検査とし、その経費は一切納入者の負担とすること。

7　納品

製品の納入に際しては、１着ごとにプレスした後ビニール袋により包装のうえ、氏名、サイズが容易に確認できるとともに、**職員ごと紙袋等に一括にまとめて収納し、所属ごとに分けて納品すること。**

8　納品の保証

納入後であっても生地、型式、縫製等に不備又は相違があるときは、速やかに補正し、又は取替えるものとする。

9　注意事項

（１）　製作に要する費用は、当初の契約額の通りとする。

（２）　使用素材は、すべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は、糸ムラ、織りキズ、ムラなどないもの、また織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければなら

ない。

（３）　縫製について、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。また仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。

（４）　仕様書の内容を納入者の解釈により勝手に変更してはならない。

（５）　この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。

1　制 服

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．品名、品番

＜上衣＞

［男性用］（株）イマジョー製　TX1000

［女性用］（株）イマジョー製　TX1020

＜ズボン＞

［男性用］（株）イマジョー製　TX1001

［女性用］（株）イマジョー製　TX1022

＜スカート＞　（株）イマジョー製　TX1021CS

２．その他追加仕様

＜上衣＞ 男女共通

ア．ステッチ入りとする。

イ．階級章台は 2.5cm×4cm の面ファスナー＜ループ面＞を縫い付ける。

ウ．左下衿にフラワーホール＜ネムリ穴＞を施す。

エ．士長は銀蛇腹線、司令補は金蛇腹線、司令以上は金蛇腹線の下部に階級毎の消防章を付ける。

＜ズボン＞男女共通

ア．ワンタックとする。

イ．裾仕上げは靴擦れ付きとしすくい縫いにて仕上げる。

３．サイズ表（単位：cm）

＜上衣＞

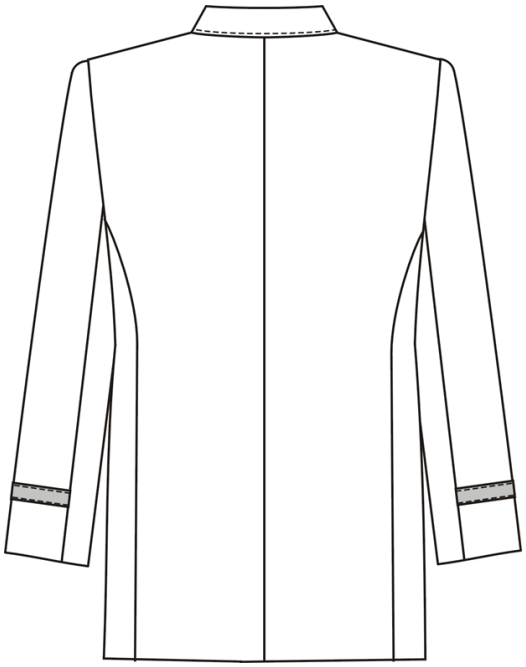
サイズ	胸囲	着丈	肩巾	袖丈
A2	98	69	45	55
A3	103	71	46	56
A4	107	74	47	58
A5	112	76	48	60
A6	117	78	50	62
B2	110	70	47	55
B3	115	72	49	56
B4	120	75	50	58
B5	125	78	51	60
AB4	112	73	47	57

＜ズボン＞

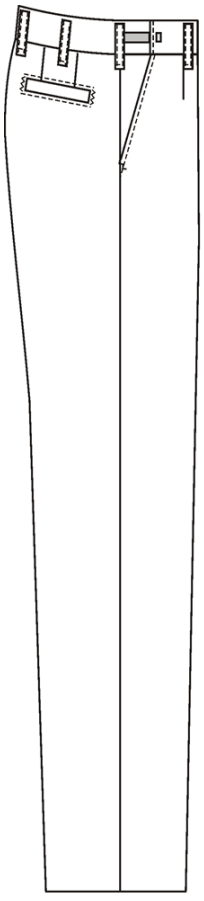
サイズ	ウェスト	股下
A1	70	採寸にて決定する
A2	73	
A3	76	
A4	79	
A5	82	
A6	85	
A7	88	
B2	91	
B3	95	
B4	100	
B5	105	
B6	110	

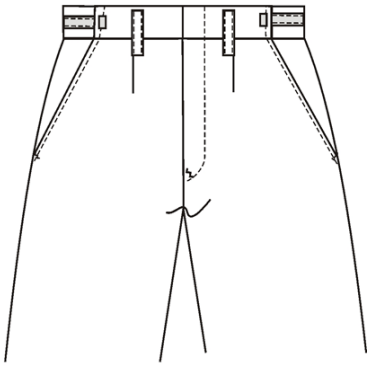
＜参考図＞

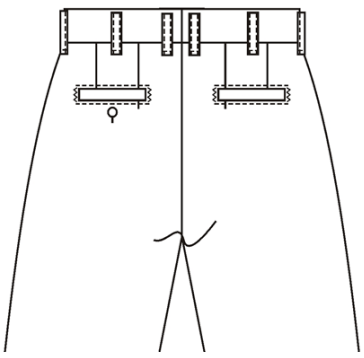
［制服上衣（男性用）］



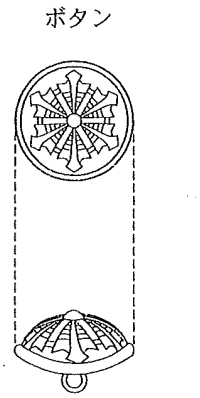
［制服ズボン（男性用）］



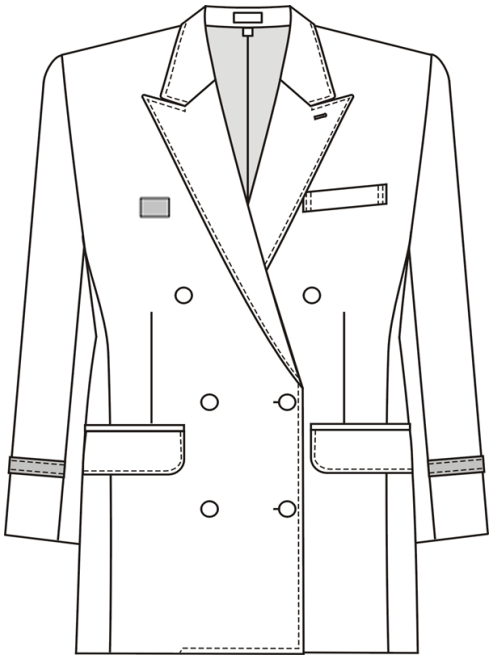


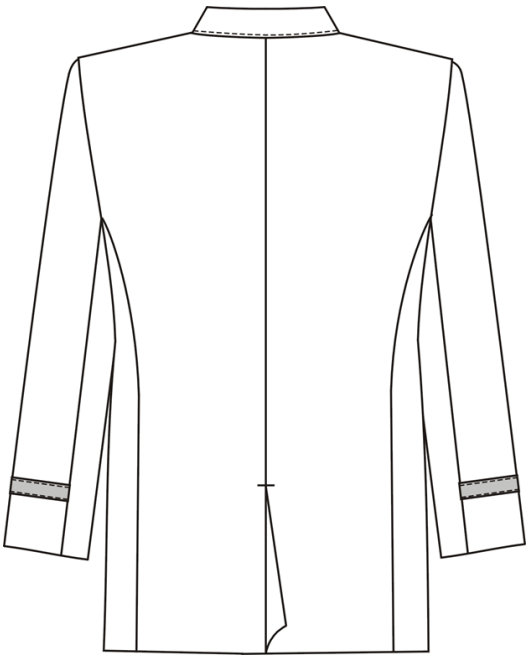


［ボタン（共通）］

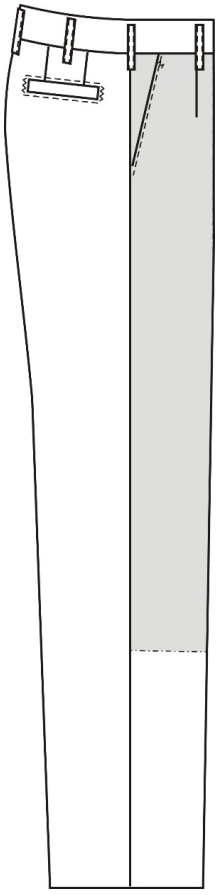


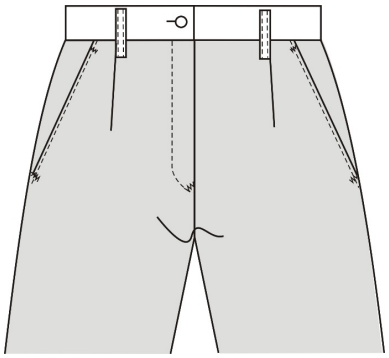
［制服上衣（女性用）］

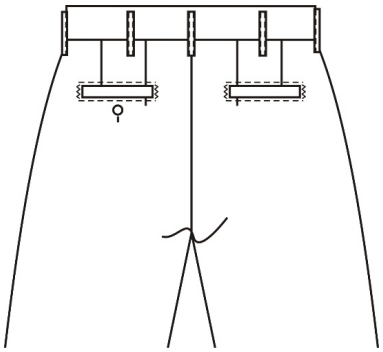




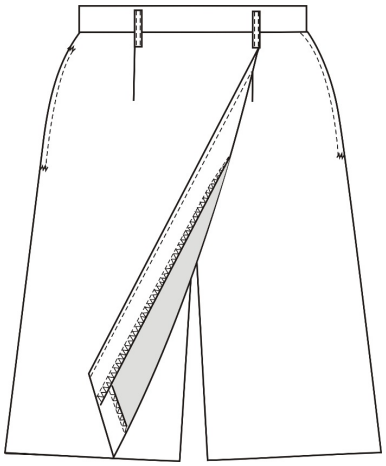
［制服ズボン（女性用）］







［制服スカート］



2　盛夏服

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．上衣

（１）型式　カッター衿型肩章付、前立て額付、長袖カフス式、半袖、左右胸ポケット雨ブタ付（ボタン止め）

（２）材料

区　分	仕　　様	用　　途
表　地	ニッケ　先染エコトロピカル＜EWS716＞　毛　30%　再生ポリエステル 69.5%　制電性繊維 0.5%　静電防止	身頃・袖・カフス・ヨーク・背・ポケット
色　相	C/# 1960（指定色）	
衿　芯	テトロン　プレス芯	
芯　地	ポリエステル 65%　綿 35%	
衿　吊	指定の物	
縫　糸	ポリエステル 100%　＃50	
釦	ポリ釦（長袖）13mm×16 個（半袖）13mm×10 個	肩章・雨ブタ・前立て・カフス
マジック	YKK マジックテープ　25mm幅	階級章台

（３）縫製条件

区　分	要　　領
針　数	3cm 間で地縫は 11 針以上、飾りは 13 針以上、オーバーロックは 8 針以上とする。
穴かがり	上衣はネムリ穴とする。 上衣の前立・雨ブタはタテ、肩章・カフスはヨコとする。
釦　付	機械付又は手付とする。 手付は 2 本の糸を 1 個の穴に 3～4 回通し、根巻は 3 回以上とする。
裁　縫	糸調子は、ツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。縫糸はテトロン糸を使用すること。また、糸始末を丁寧に行うこと。

（４）縫製

区　分	要　　領
主　衿	衿にはテトロン芯を入れ、衿巾は背中央で 4.5cm（衿台巾 3.7cm）衿先巾 8.0cm とする。
身　頃	前身のハギは認めない。
前立て （額付）	前立ては表額付きとし、釦を 6 個つける。ガク巾は 4.0cm とする。
胸ポケット	① ポケットは左右 2 ケで雨ブタ付とする。 ② 左右雨ブタには、テトロン芯を入れる。 ③ 雨ブタは巾中央で高さ 6.0cm（端部で高さ 4.5cm）横巾 14.0cm、胸ポケットは 13.5cm、深さ 14.5cm、インダーツとする。 雨ブタは釦止めとする。（ループは不可）

ペン差し	左胸ポケットの雨蓋前端より 2.0cm 内側に巾 2.0cm のペン差しをつける。
衿　巾	衿巾は所定のものを衿付中央にはさみ縫付とする。
肩当て	巾は中央で 7.0cm（AL サイズ）とし、背肩ヨークは二重仕立とし、はさみ縫いとし表一条飾りミシン縫いとする。（1 枚は不可）
肩　縫	片倒しくるみ縫いとする。
背タック	背ヨーク中心に巾 3.5cm のボックスプリーツをする。
脇　縫	本縫いし更にオーバーロックをかける。（インターロックミシン可）
袖　縫	1 枚袖とし袖の縫合せは本縫いし、更にオーバーロックをかけて片倒しとする。
袖付縫	本縫いし更にオーバーロックをかける。（インターロックミシン可）
袖　口	長袖はノボリ付きとし、カフス巾 6.0cm、のぼりの高さ 15.0cm とする。開き 12.0cm とし、ボタンはカフスに 2 個、ノボリはカフスに 2 個、ノボリに 1 個取り付ける。半袖は袖口の折り返しをミシンたたきとする。
片　布	所定のものを上前胸ポケット裏面中央に縫付け、その下に品質表示を縫付ける。
サイズネーム	衿付中央の下縁に、はさみ縫付ける。
階級章台	右前身頃雨蓋付根、中央上部 1.5cm 上に、縦 2.5cm 横 4.0cm の面ファスナーを四方縫い付ける。
肩　章	巾は 4.5cm とし、端を袖付けの縫目に縫込み、クロスステッチを入れる。肩章の先は衿付根部とし、ボタンで止める。
裾折返し	裾は三ツ巻縫いとして、ワイシャツ式とする。

2．ズボン

（1）型式　男性用ズボン：ワンタック、長ズボン、腰帯付、裾口シングル、両脇ポケット、両ピスポケット

（2）材料

区　分	仕　様	用　途
主材料	地　トスコ　エコポーラ＜ECO2000＞ 再生ポリエステル 80%　麻 20%　C/#　FD 紺（指定色）	前身頃・後身頃・前立て・天狗・帯・ポケット向当て・ループ
	マーベルト／袋地 構成　ポリエステル 65%　綿 35%　品番＃7500 C/＃クリーム	帯・ポケット袋
副材料	YKK 製ファスナー	前当て
	オビ芯	帯芯
	前環	前当て
	ポリ釦　15mm	天狗・ピスポケット

（3）縫製条件　上衣に準じる。

（4）縫製

《男性用ズボン》

区　分	要　領
前タック	左右各 1 本を外向けに付け、ワンタックとする。
腰　帯	帯巾 3.5cm 仕上り寸法とし、芯地を入れ、裏はマーベルト（滑り止め）を付ける。

ループ	上部より 1cm 下にループ巾 1cm、長さ 5cm のループを 8 本付ける。ただし、後ろ中心のループは 2 本とする。
脇ポケット	両脇口の個所に 0.6cm の飾りを掛け、他は割り縫い、口巾 15cm、深さ上門より 27cm、袋巾 16cm とし、向当布を内外につけ、口端に閂止めをする。右袋内に共生地で小物ポケットを縫い付ける。
尻ポケット	上端より 9cm 下に口巾 14cm、深さ 18cm 片玉にて左右に蓋なしのポケットを付け、左はボタン止めとする。ポケット両口端にはそれぞれ閂止めとする。
相引き・内股尻縫い	裁ち目はオーバーロック、内股、尻縫いはミシンで 2 回縫いし、特に尻縫いは、糸切れを防ぐため、伸ばして地縫いする。
棒シック	袋地使用、尻縫目にミシン目が表に出ないように 10cm、巾 2cm のものを付ける。
裾　口	折り返しは 3cm 以上とし、オーバーロック掛けミシンたたきとする。
靴づれ	巾 2cm、長さ 18cm のものを付ける。
片　布	上前、脇ポケット裏に上衣と同等の片布を付ける。
サイズネーム	上前、腰裏に取り付ける。
穴かがり	機械穴、鳩目とする。

《女性用ズボン》

区　分	要　　領
ｳｴｽﾄﾍﾞﾙﾄ	ベルト巾は 3 cm とする。
脇ポケット	脇セットポケットは、口巾 16cm とし上下閂止めをする。
尻ポケット	尻ポケットは両ピスで片玉口巾 1cm×14cm とし釦で止める。
前ファスナー	前中心は、18cm ファスナー開きとする。
裏　地	腰部は表に合わせてタックを取る。
ポケット袋	脇セットポケット、尻ポケット共裏地利用のスレーキとする。
ベルト通し	1cm 巾で中巾 4.5cm とし、前身 2 本、後身 3 本とする。
前タック	ワンタックで、前側は 2.0cm・脇側 1.5cm のヒダ奥を取る。
ダーツ	後身頃各 2 本取りとする。

《女性用スカート》

区　分	要　　領
ｳｴｽﾄﾍﾞﾙﾄ	巾 30mm の腰帯芯（インベル芯）を入れる。 巾 1cm、長さ 4cm のベルト通し、4 本付き。 三段尾錠を付ける。両脇にスカート巾を挟み込む。 左側上部ベルト位置で三段尾錠で止める。
前身頃	ラップ式とする。
ポケット	右サイド脇ポケットは、セットポケットとし、袋布は裏地を使用する。 ポケット口は 16cm とする。
ダーツ	前 4 本、後 4 本とし、左側で接ぎ 18cm ファスナーを付ける。
裾	裾ヘムは 5cm とし、ロックルイスする。

その他	ズボンに準ずる。

サ イ ズ 表

《男性　長袖・半袖上衣》　（出来上がり寸法）（単位：cm）

	上衣丈	胸囲	肩巾	長袖丈	半袖丈	ネック
AS	78	100	43	53	26	37
AM	80	105	44	55	27	38
AL	82	110	46	57	27	39
ALL	84	115	48	59	28	40
A3L	86	118	49	63	29	42
BS	78	108	45	52	27	38
BM	80	114	47	54	28	40
BL	82	120	49	56	28	42
BLL	84	124	51	56	28	45
B3L	86	128	53	60	29	47
YM	82	100	43	57	27	37
YL	84	105	44	59	27	38
YLL	86	110	46	61	28	39

《男性　ズボン》　（単位：cm）

	腰廻	股下	ワタリ巾
A1	70	フリーサイズ	32
A2	73	〃	32
A 3	76	〃	33
A4	79	〃	33
A5	82	〃	34
A6	85	〃	34
A7	88	〃	35
B2	91	〃	35
B3	95	〃	36
B4	100	〃	37
B5	105	〃	38
B6	110	〃	39

《女性　長袖・半袖上衣》　（出来上がり寸法）（単位：cm）

	ネック	肩幅	長袖丈	半袖丈	胸囲	着丈	長袖口	半袖口
7 号	36	42	54	22	96	62	5＊23	31.5
9 号	37	43	55	23	100	64	5＊23	32.0
11 号	38	44	56	23	104	66	5＊24	32.5
13 号	39	45	57	24	108	68	5＊24	33.0
15 号	40	46	57	24	112	70	5＊25	33.5
17 号	41	47	58	25	116	70	5＊25	34.0

《女性　ズボン》

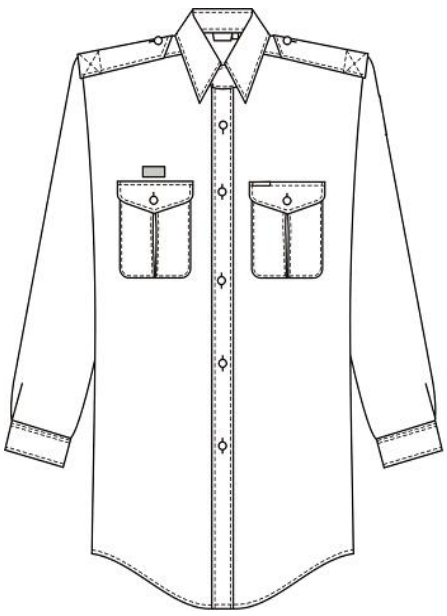
	W	H 上り	股上	裾巾
7 号	60	97	28	21.0
9 号	63	100	29	21.5
11 号	66	103	29	22.0
13 号	69	106	30	22.5
15 号	72	109	30	23.0
17 号	75	112	31	23.5

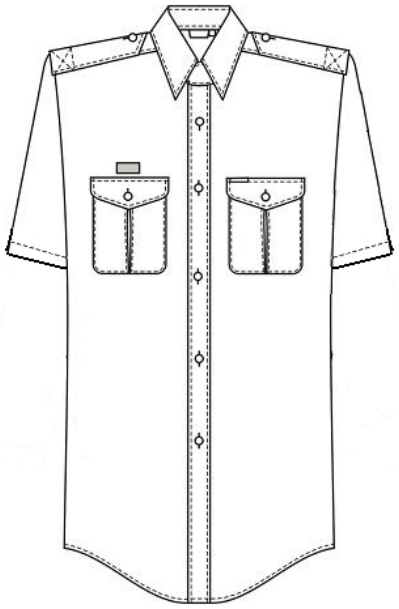
《女性　スカート》

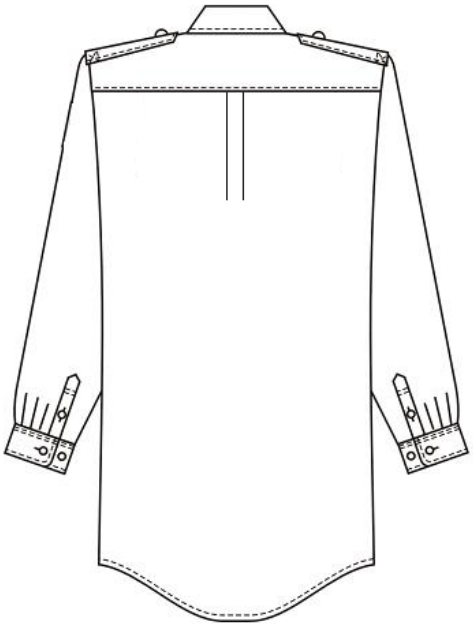
	W	H 上り	丈
7 号	60	93	56
9 号	63	96	57
11 号	66	99	57
13 号	69	102	58
15 号	72	105	58
17 号	72	108	59

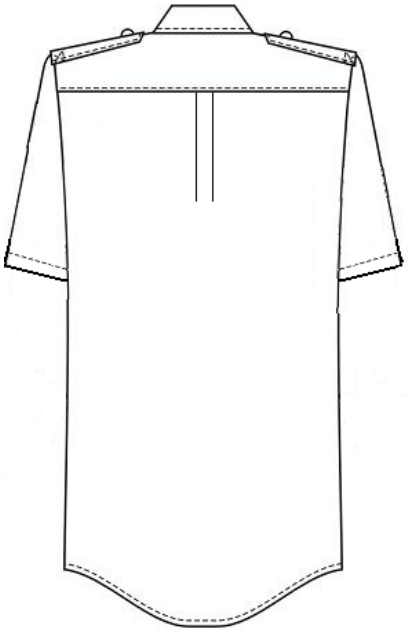
＜参考図＞

［盛夏服　長袖上衣･半袖］

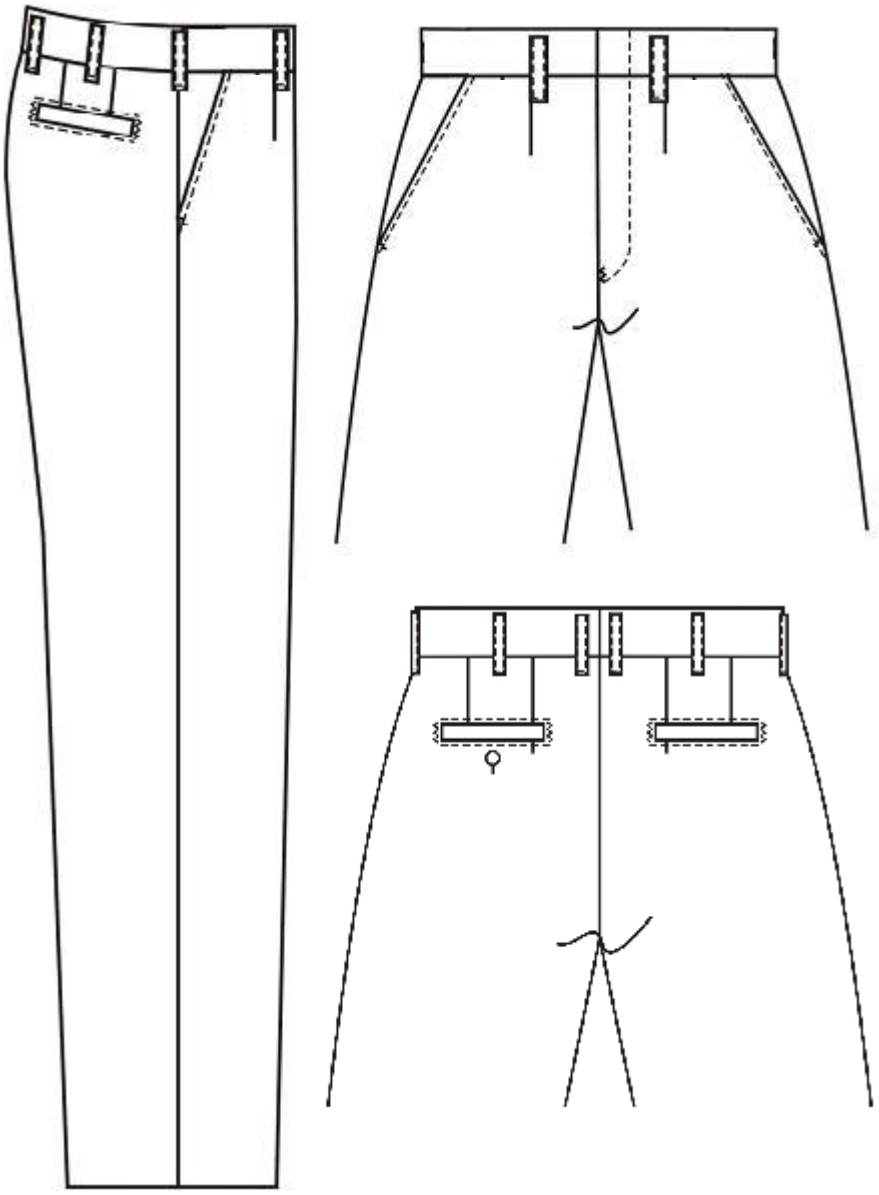




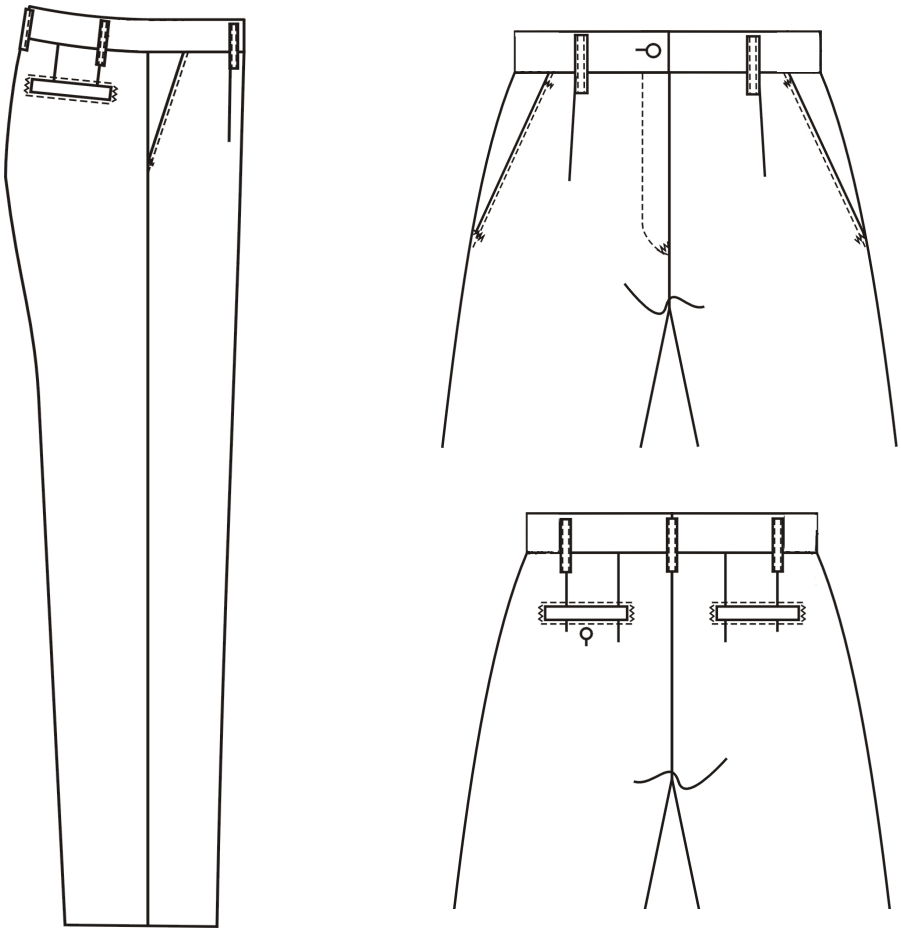




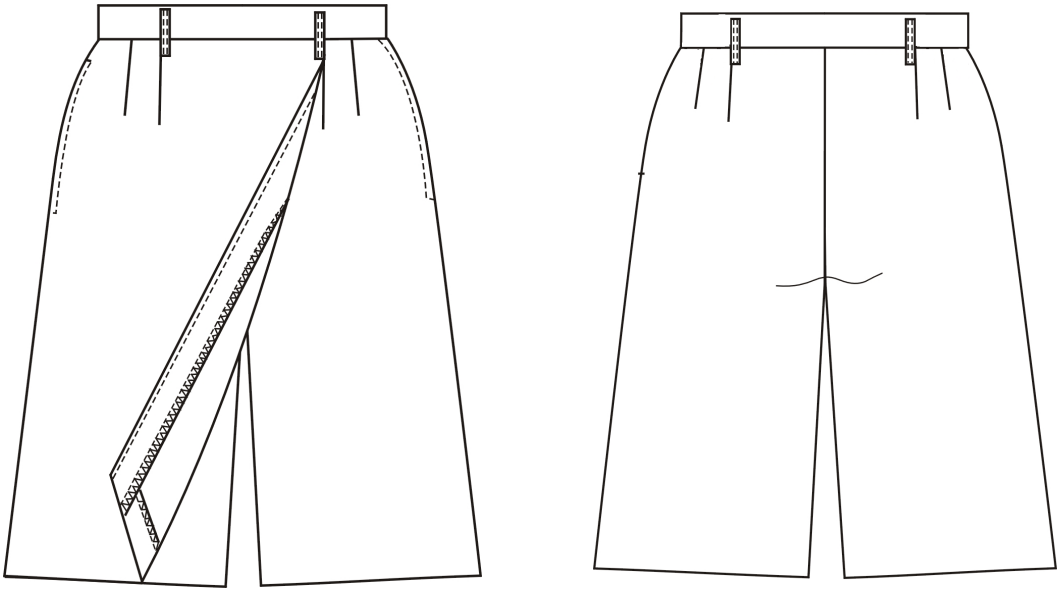
［盛夏服ズボン（男性用）］



［盛夏服ズボン（女性用）］



[盛夏服ラップキュロット（女性用）]



3 制 帽

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．冬制帽

（１） 材 料

（男性用）

表生地	制服と同色とする
裏地	純綿、平織、防縮加工したもの、堅牢な黒色
ビニールフィルム	裏張り、汗切り用
庇	①表・・・・ビニールレザー、黒色 ②裏・・・・再生革、シボ付き、黒色
あごひも	黒色の合成皮革製、幅１２ｍｍ
びん革	デラ・クール使用、幅４ｃｍ、片折り玉縁飾りミシン縫いとする。
前立ばね	幅３ｃｍポリエチレン板に、ら線状バネを縫い付ける。
帽章	黒ラシャ生地の8枚葉金モール刺繍で、金属消防章(銀色)を抱擁する。
耳釦	真鋳製、金色
天張り	硬質ビニールに＃１９番銅線を２本入れる。
ハト目	黒色のもの
腰枠	ポリエチレン板、幅５ｃｍ、厚さ幅１．５ｍｍ
周章	消防吏員服制準則のとおりとする。

（女性用）

表生地	制服と同色とする
裏地	純綿、平織、防縮加工したもの、堅牢な黒色
ビニールフィルム	裏張り、汗切り用
庇	円形つば型
腰部	表生地使用
帽章	黒ラシャ生地の8枚葉金モール刺繍で、金属消防章(銀色)を抱擁する。
周章	周章は入れない
型式	ハイバック型

（２）　縫　製

（男性用）

天井栴え	表生地を楕円形に裁ち、裏生地も楕円形に裁ち、ネーム入れの付いたビニールフィルム（汗止め用）と縫い合わせる。
襠縫	①表生地を前襠２枚、後襠２枚に裁ち、各先端を後片倒し縫いで止め、輪状とする。 ②各縫い代は５ｍｍ以上とする。 ③片方に２個ずつのハト目穴を施す。
腰栴	腰の両端を片倒して縫い合わせ、輪状とし、下端玉縁をつくる。
天まとめ	①天井布と襠布との各先端とを縫い合わせる。 ②縫い合わせた上をバイアスで包み縫いをする。 ③次に腰の上端と襠の下端を縫い合わせバイアスで包み縫いをする。 ④各縫い代は、５ｍｍ以上とする。
腰枠栴え	①ポリエチレン板で各サイズに合せ、両端を合わせ輪状に止める。 ②腰中央部（全面）に前立用バネを固定する。
仕上げ	①腰枠を腰布内部に入れ、腰布下部を内側へ折り返してミシンにて縫製する。 ②全面中央に庇を付け、内側にびん革を縫い付け、後部重ね目はハトで止める。 ③黒色斜子べり、金蛇腹等により周章を縫い付ける。 ④前面中央部に前章を縫い付ける。 ⑤あごひもを耳釦で止め裏側に通して耳釦の割足を内部へ折り返す。 ⑥びん革を内側へ折り返し仕上げる。 ⑦厚紙の仮枠を入れる。

（女性用）

天井部	天井分にサイズ・氏名を明記できる名札入れを設ける。
外周部	帽子の周囲に黒色のリボンを巻くものとする。

２．盛夏帽

（１）　材　料

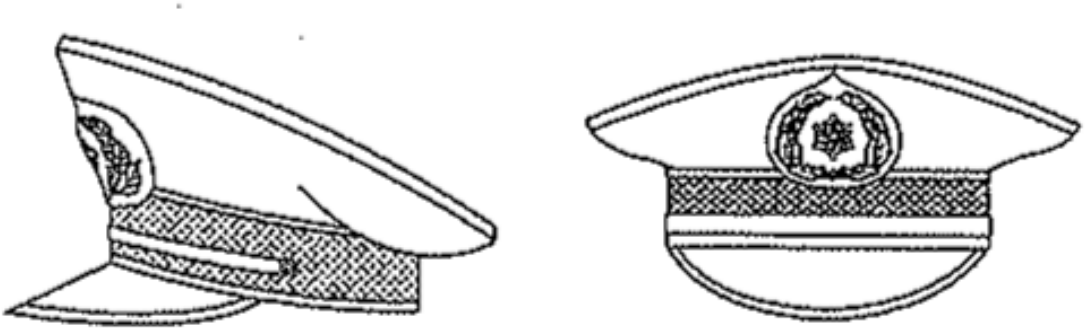
制帽の仕様に同じ。ただし、表生地は、盛夏服ズボンと同生地、同色とする

（２）　縫　製

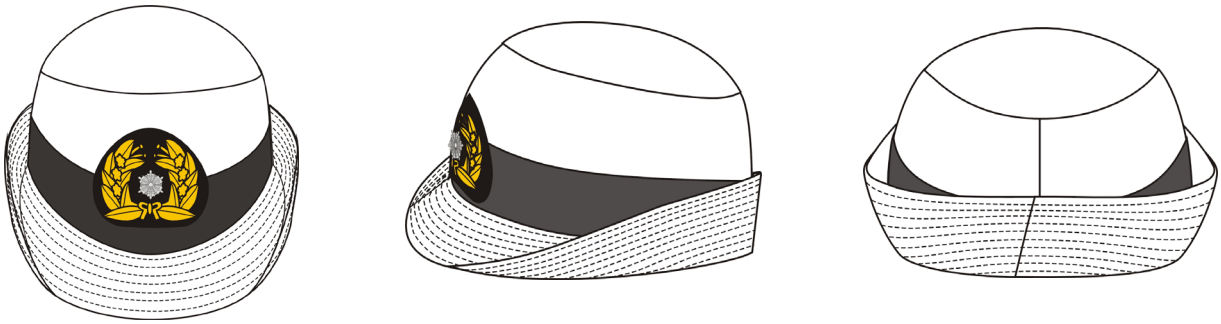
制帽の仕様に同じ。ただし、仕上げにおいて斜子べりは、ＳＤ色（同系色）とする。

<参考図>

［制帽・盛夏帽（男性用）］

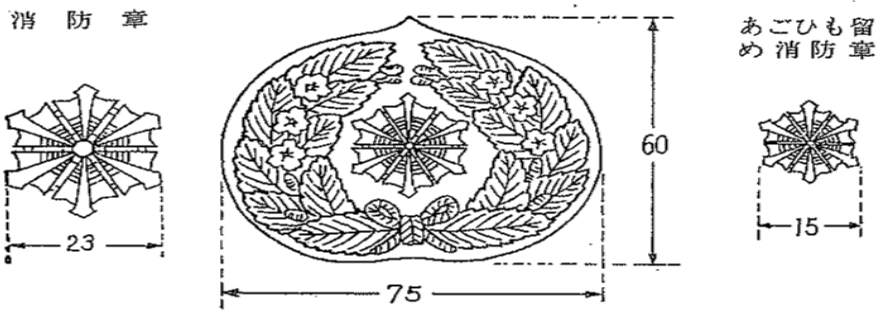


[制帽・盛夏帽（女性用）]

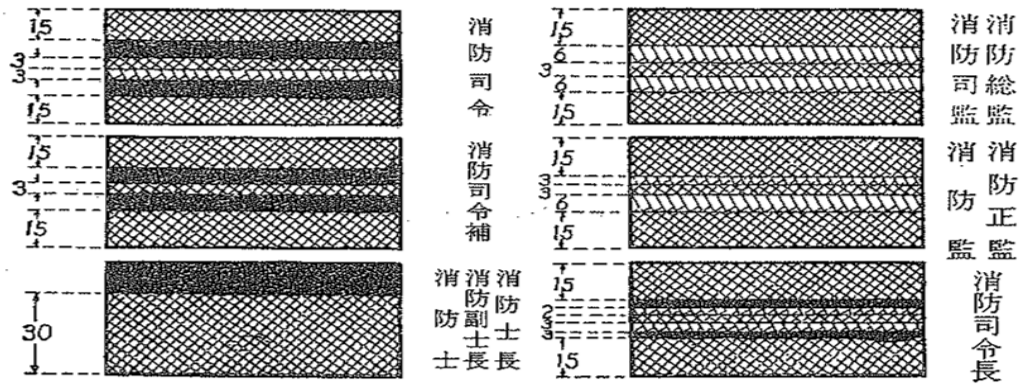


[き章・周章]

き　　章



周　　章



４　ネクタイ

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．ネクタイ（制服用）

区　分	規 格 等
製　式	裏付棒ネクタイとする。
裁　断	表地及び芯地とも正バイアスとする。
形　状	（１）長さ　　143cm （２）前先巾　　9cm （３）後先巾　　4cm
素　材	ポリエステル 100%
色	紺地にオレンジのストライプ柄、消防章入りとする。（別図参照）

２．ネクタイ（盛夏服用）

区　分	規 格 等
製　式	裏付棒ネクタイとする。
裁　断	表地及び芯地とも正バイアスとする。
形　状	（１）長さ　　143cm （２）前先巾　　9cm （３）後先巾　　4cm
素　材	ポリエステル 100%
色	青地にオレンジのストライプ柄、消防章入りとする。（別図参照）

<参考図>

5　ベルト

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．制服用ベルト

区　分	規　格　等
種別	ナイロンベルト
色	濃紺（ズボンと同系色とする。）
止金	ローラーバックル
マーク	消防マークとする。

２．盛夏服用ベルト

区　分	規　格　等
種別	ナイロンベルト
色	青（ズボンと同系色とする。）
止金	ローラーバックル
マーク	消防マークとする。

6　活動服

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．品名、品番

＜冬活動服＞

[上 衣]　（株）イマジョー製　TX9000VR

[ズボン]　（株）イマジョー製　TX9001DR

＜夏活動服＞

[上 衣]　（株）イマジョー製　TX9100VR

[ズボン]　（株）イマジョー製　TX9101DR

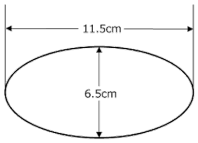
２．その他追加仕様

＜上衣＞

ア．左胸雨蓋上部に楷書体、金茶色で上段に西部消防局、下段に個人名(姓のみ)を刺繍する。

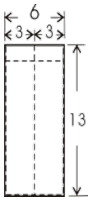
イ．右袖肩付けより 8cm 下に指定型のワッペン台座＜面ファスナー／ループ面＞を縫い付ける。

＜右図＞



ウ．左袖肩付けより 8cm 下に長さ 13cm、幅 6cm の 2 本入りペン差し取り付ける。

＜右図＞



エ．背ヨークに下記の指定デザインを反射ネイビーにて圧着プリントする。

＜W330mm×H79mm＞

鳥取県西部消防局

TOTTORI SEIBU FIRE DEPARTMENT

＜ズボン＞

ア．裾仕上げは靴擦れ付きとしミシンタタキ縫いにて仕上げる。

３．階級章台　胸部右のポケットブタ付根上部中央部 1cm の位置にタテ 2.5cm、ヨコ 4.0cm の上着と同色のマジックにて四方を縫い付けること。

4.サイズ表（単位：cm）

＜上衣＞

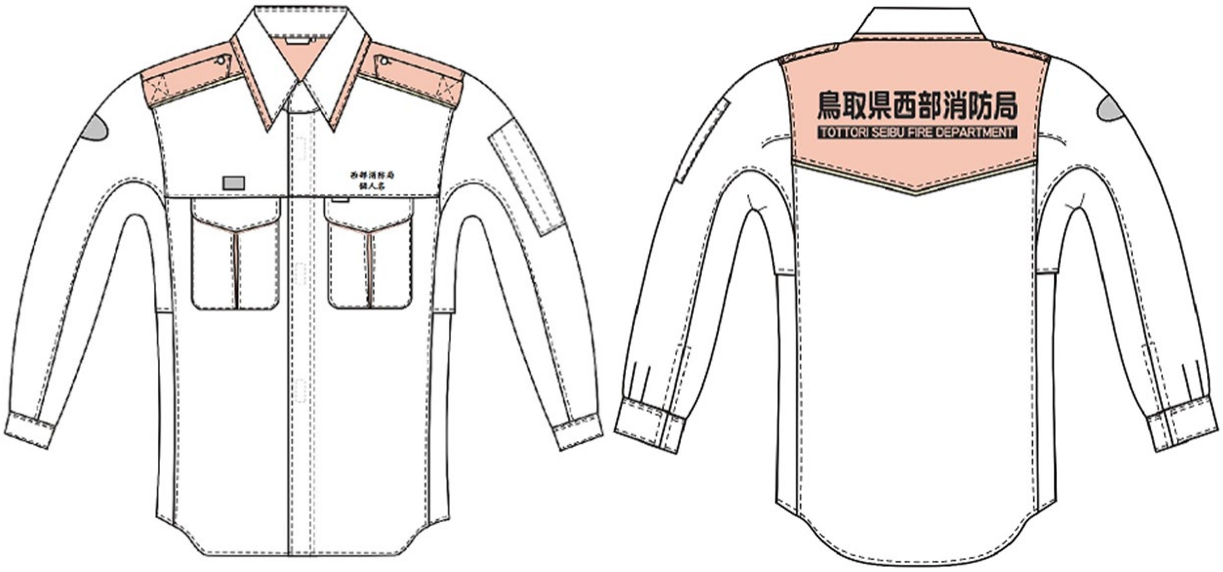
サイズ	胸囲	着丈	肩巾	裄丈	ネック
AS	100	73	44	75	39
AM	105	75	46	78	40
AL	110	77	48	81	41
ALL	115	79	50	84	43
A3L	1120	81	52	87	45
BS	110	73	48	75	43
BM	115	75	50	78	45
BL	120	77	52	81	47
BLL	125	79	54	84	49
B3L	130	81	56	87	51

＜ズボン＞

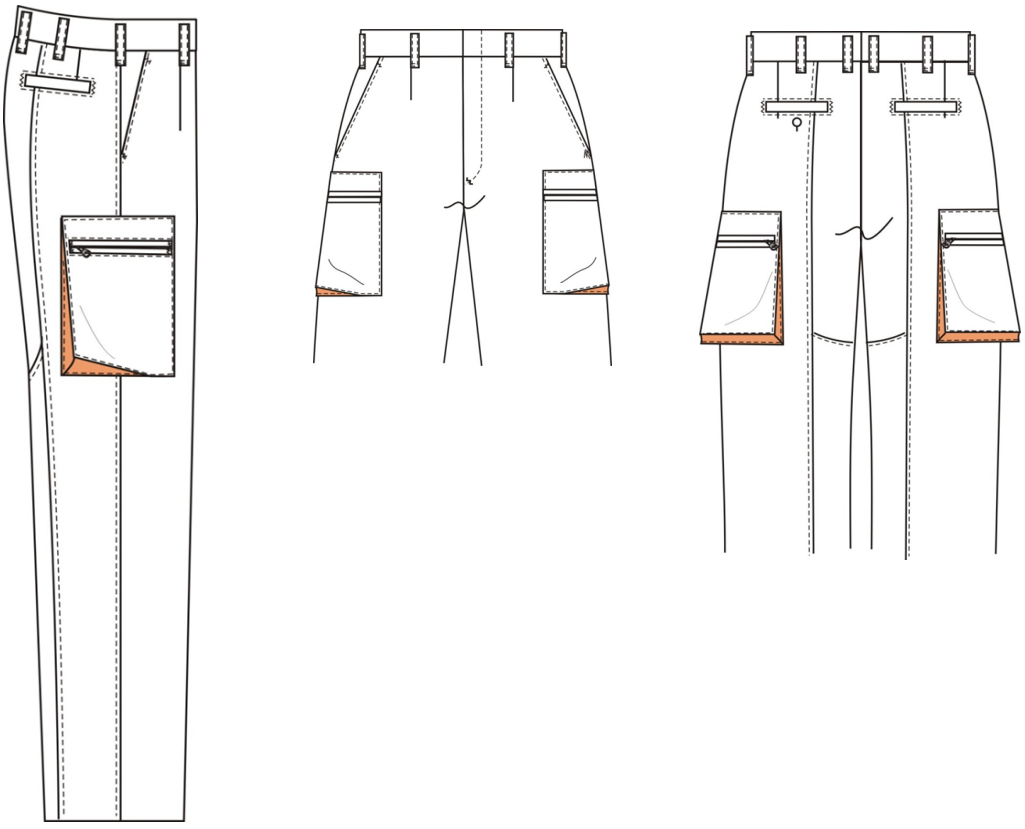
サイズ	ウェスト	股下
A1	70	採寸にて決定する
A2	73	
A3	76	
A4	79	
A5	82	
A6	85	
A7	88	
B00	82	
B0	85	
B1	88	
B2	91	
B3	95	
B4	100	
B5	105	
B6	110	

＜参考図＞

[活動服（夏冬共通）]



[活動服ズボン（夏冬共通）]



7　活動服用ベルト

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

区　分	要　　領
制式	ナイロン製２穴止め、金具は金属製とする。（２本ピン止め、はと目穴５個、取外し式バックル、幅 38mm、長さ 120cm）
色	紺色・活動服の色調に準じたもの。

8　救急服

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．冬救急服

（１）上　衣

区　分	要　　領
色及び地質	明るい青みの灰色（指定色）で、ニッケ　ソフトピッケ、品番 SK553（帯電防止加工及びスーパーセルボニック加工処理したもの。）
製　式	①　台えり付きシャツカラーの長そでとし、ウエストラインにタックを入れる。 ②　比翼仕立てとし、胸部左右に各一個、左肩下に一個ポケットをつけ、胸部左右のポケットにはふたをつける。 ③　衿に、ポリエステルと綿との混紡糸を使用した白のブロードの替えりをつける。 ④　胸部左のポケット上部に、マジックテープ式ワッペン（消防本部名・苗字を記載）（別図１のとおり）とする。 ⑤　救急救命士にのみ、マジックテープワッペン上部に青色で救急救命士の刺繍ネームを縫いつけること。（別図１のとおり） ⑥　形状は、図のとおりとする。 ⑦　肩章は外側の端を肩の縫い目に縫い込み、白の反射テープの肩章カバーを差し込むとともに、えり側を地質と類似色のボタン１個でとめる。 ⑧　階級章台は、胸部右のポケットブタ付根上部中央部 1cm の位置にタテ 2.5cm、ヨコ 4.0cm の上着と同色のマジックにて四方を縫い付けること。 ⑨　前たては、ヒヨク仕立てファスナー式（YKK 製）とし、ファスナー上部止めは襟もとより 5cm 下げるとともに、３ヶ所マジック止めのうえ襟元にボタンを１ヶ所設けること。
縫　製 （女性用）	型紙は女性用型紙で、かつサイズ構成も女性用サイズであること。

（２）ズボン

区　分	要　　領
色及び地質	暗い灰色（指定色）で、ニッケ　サキソニー、品番 SK551（帯電防止加工及びスーパーセルボニック加工処理したもの）
製　式	①　長めのタックを入れた長ズボンとし、両もも及び左右後方に各一個のポケットを付ける。 ②　左右後方のポケットは、ボックススプリーツ上切替え仕立てとする。 ③　形状は、図のとおりとする。
縫　製 （女性用）	型紙は女性用型紙で、かつサイズ構成も女性用サイズであること。

２．盛夏救急服

（１）上　衣

区　分	仕　　様
色及び地質	明るい黄みの灰色（指定色）で、ニッケ　ポーラ、品番 SK554
製　式	長袖又は半袖とし、左肩下のポケットはつけない。その他は、冬救急服上衣と同様とする。 形状は、図のとおりとし、図中二重斜線部分はスリット空き、背裏メッシュ仕立てとする。
縫　製 （女性用）	型紙は女性用型紙で、かつサイズ構成も女性用サイズであること。

（２）ズボン

区　分	要　　領
色及び地質	暗い灰色（指定色）で、ニッケ トロピカル、品番 SK552（帯電防止加工及びスーパーセルボニック加工処理したもの）
製　式	冬救急服ズボンと同様とする。
ループ	上部より 1cm 下にループ巾 1cm、長さ 5cm のループを 8 本付ける。ただし、後ろ中心のループは 2 本とする。
縫　製 （女性用）	型紙は女性用型紙で、かつサイズ構成も女性用サイズであること。

3．階級章　裏マジック付アドバンス階級章とする。

4．その他仕様

＜別図１＞

マジックテープ刺繍には「鳥取県西部消防局」「救急救命士」（指定する救急救命士のみ）「苗字」を記載する。

※マジックテープ刺繍の大きさについてはW１２０㎜×H40 ㎜程度とし裏マジックテープ付とする。

※文字：明朝体で濃いグレーとする。

＜別図２＞

（１）背部の指定した位置に下記の指定デザインを黒色にて圧縮プリントする。

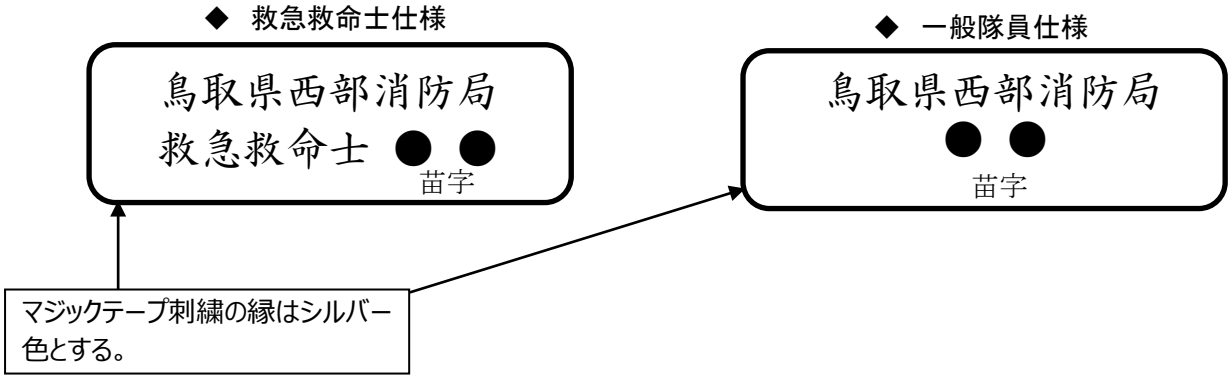
（２）圧着プリント文字の上段と下段の長さを揃えること。

（３）圧着プリント文字の大きさについてはW270 ㎜×H64 ㎜程度とするが、肩巾の小さいサイズについてはプリント文字の大きさを調整し、タックライン（縦）内に入るように仕上げること。

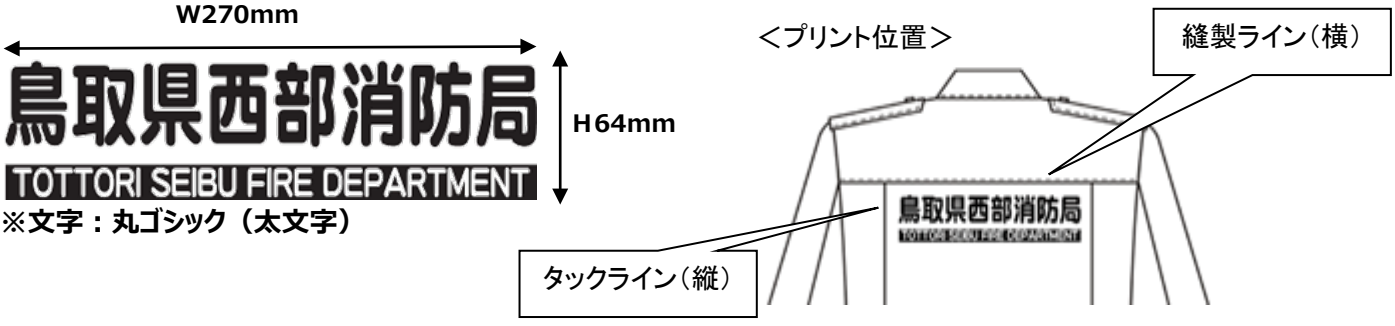
（４）圧着プリント位置は背部の縫製ライン（横）より１㎝下の位置とする。

（５）詳細については、必要に応じ契約後に受注者と別途、協議を行うこととする。

＜別図１＞



＜別図２＞



サイズ表（上り寸法）（単位：cm）

［ 女性用救急服 上衣 ］

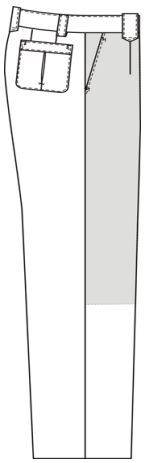
［ 女性救急服 ズボン ］

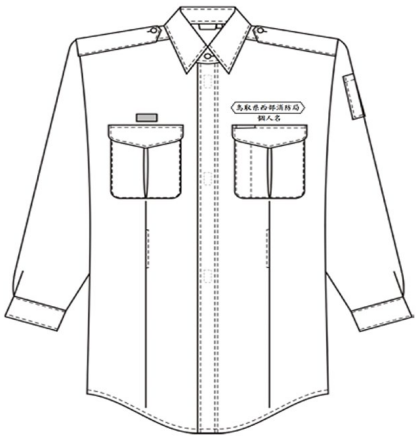
	W	H 上り	股上	裾巾
7 号	60	97	28	21
9 号	63	100	29	21.5

	着丈	肩巾	袖丈	胸囲	ネック
7 号	72	42	54	96	35
9 号	72	43	55	100	36
11 号	74	44	56	104	37
13 号	76	45	57	106	38
15 号	77	46	57	112	39
17 号	78	47	58	116	40

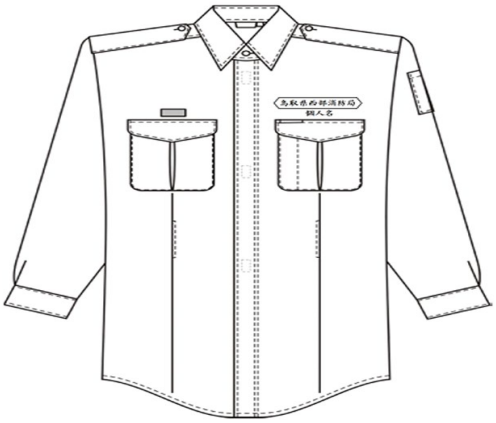
<参考図>

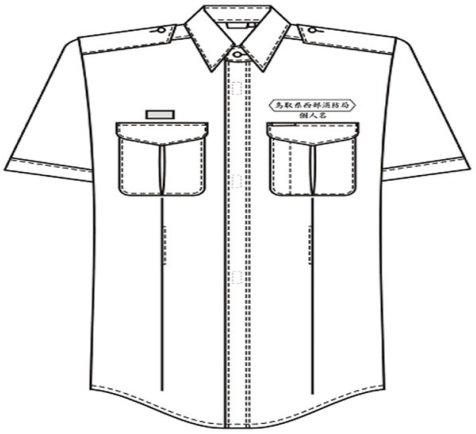
[冬救急服]





[盛夏救急服]





9　救急帽

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．冬救急帽

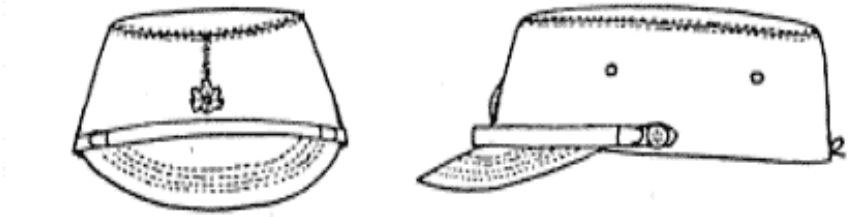
区　分	要　　領
色及び地質	暗い灰色で、ニッケ　サキソニー、品番 SK551（帯電防止加工及びスーパーセルボニック加工処理したもの。）
製　式	①　前ひさしは、地質と同じものとし、その表を白の反射テープで覆う。 ②　あごひもは、灰色ビニール製とし、その両端は、帽の両側において銀色金属製消防章各 1 個でとめる。 ③　形状及び寸法は、図のとおりとする。
き　章	銀色金属製消防章とする。 形状及び寸法は、図のとおりとする。
周　章	①　帽の周りに階級に応じ白のレーヨン製あや竹リボンを巻くものとする。 ②　寸法は、図のとおりとする。

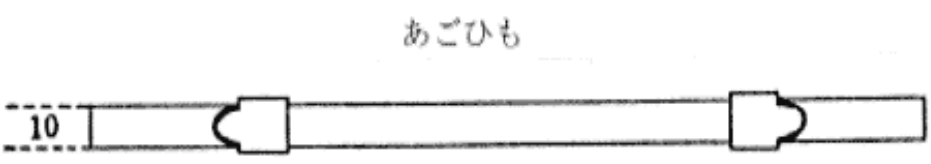
２．盛夏救急帽

区　分	仕　　様
色及び地質	暗い灰色で、ニッケ　トロピカル、品番 SK552（帯電防止加工及びスーパーセルボニック加工処理したもの）
製　式	冬救急帽と同様とする。
き　章	冬救急帽と同様とする。
周　章	冬救急帽と同様とする。

＜参考図＞

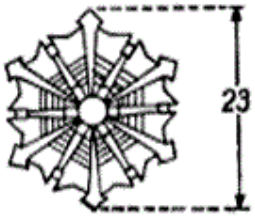
[救急帽]





[き章・あごひも留め消防章]

き　　章



あごひも留め消防章

[救急帽につける階級周章]

階　級	保安帽	しころ	救急帽	周　章
消防士	4	10	4	[redacted]
消防副士長	2 4 4	5 10 10	3 3 4	[redacted]
消防士長	4 4 4	10 10 10	4 3 4	[redacted]
消防司令補	4 4 8	10 10 25	4 3 6	[redacted]
消防司令	8 4 8	25 10 25	6 3 6	[redacted]
消防司令長	8 4 4 4 8	25 10 10 10 25	6 3 4 3 6	[redacted]
消防監	8 4 8 4 8	25 10 25 10 25	6 3 6 3 6	[redacted]
消防正監	8 3 8 3 15	20 5 20 5 40	6 3 6 3 8	[redacted]
消防司監	8 3 15 3 15	20 5 40 5 40	6 3 8 3 8	[redacted]
消防総監	15 3 15 3 15	40 5 40 5 40	8 3 8 3 8	[redacted]

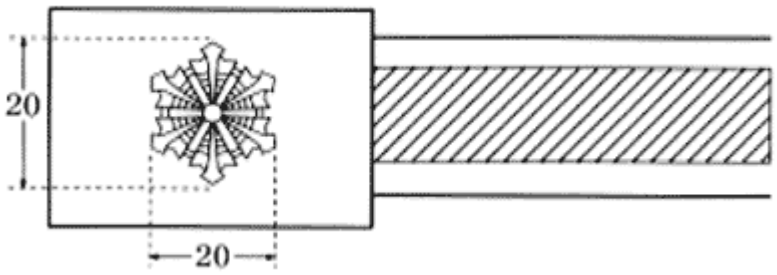
１０　救急服用ベルト

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

区　分	要　　領
製　式	白の合成皮革とし、前金の中央には消防章を付け、色は銀色とする。
形状及び寸法	図のとおりとし、図中斜線部分に白の反射テープをつける。

＜参考図＞

[救急服用ベルト]



１１ 雨 衣

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．材　料

区　分			仕　　様（規格）
主材料	表地（防水布）（別紙１） 指定色：マスカット。ただし、フードは、透明色とする。	上衣	前身頃上部、前身頃下部、後身頃、衿表裏、フード、衿フード収納カバー、袖口絞り布、身返し、持ち出し表裏、ポケット袋
		ズボン	身頃左右、裾水除け布
	裏地（ﾒｯｼｭ） ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ 100%		前後身頃の裏面、袖部、下衣前後身頃の裏面
	収納袋生地		本体
副材料	ドット釦 プラスチック製　ST-5		径 12mm　前立て 6 組、衿腰 3 組、下衣裾左右 2 個
	YKK　NO.4 コイルファスナー		M-64　L-66　LL-68　EF-70　４L-75　５L-77　（cm） 前立て 1 本
	マジックテープ		20mm　袖口（ｵｽ　3cm　ﾒｽ　12cm） ポケット口（ｵｽ、ﾒｽ　8cm）
	コードロック　黒		フード 2 個
	３ミリナイロン紐		フード、収納袋
	20 ミリ幅エステルタック平ゴム		袖口、7cm×2 個
	丸ゴム　黒		下衣ウエスト
	洗濯絵表示ネーム		2 枚
	衿ネーム		2 枚
	サイズシール		2 枚
	塩化ビニール袋		1 枚
	インサートラベル		1 枚
	糸　ポリエステル		本縫い

２．構造の概要

形　式		縫い目裏防水要所に目張りテープを溶着する。半コート、長ズボンの上下式とする。
上衣（全般図 1 参照）	衿	立衿式フード収納型とする。衿先端部には、本体身頃前端と連結して、前立てファスナーを縫着し、その上に持ち出しを縫着しドット釦にて留められるものとする。
	前面	半コート式とし、別布にて持ち出しを設け前立に 5 個、衿に 1 個のドット釦とファスナーの併用式とする。前身頃上部は袖と一体式とし、腰部にて切り替えしを持ち、前身頃下部にて斜めに雨蓋式ポケットを要するものとする。

	袖	前身頃上部と一体式とし、後身頃とはラグラン袖式とする。袖口には、ゴムを内包し、スーピーを付けマジックテープにて絞られるようにするものとする。
	背	後身頃はラグラン袖式の一枚裁ちとする。
ズ ボ ン（全般図 2 参照）	腰	腰部は、三折りとし、3cm のゴムを内包したものとする。
	裾	裾脇下部にファスナーを縫着し、水除け布をファスナーの上に付けるものとする。 袖口は、1.5cm の三巻き縫いとし、丸ゴムを内包させたものとする。

3．縫製（上衣）

区　分	仕　　様（規格）
衿	立衿式とし、表裏二枚を合わせ、衿腰後部にフードを縫着し衿と同じ大きさのフードカバーを付け、衿とドット釦で留められるものとする。
前身頃	半コート式とし、別布にて持ち出しを設け前立に 5 個、衿に 1 個のドット釦とファスナーの併用式とする。前身頃上部は袖と一体式とし、腰部にて切り替えしを持ち、前身頃下部にて斜めに雨蓋式ポケットを要するものとする。
腰ポケット	前身頃下部に斜めに切り込みを付け上布は 5cm の返しステッチをし、雨蓋とする。ポケット袋は共布を上布 5cm ステッチに挟み込み手出しを設けるものとする。袋の裏面はメッシュ地とし手出しのところにマジックテープを縫着し、留められるものとする。
後身頃	一枚裁ちのラグラン袖式とし、衿は 2.5cm の三巻き縫いとする。 後身頃上部には、別紙のとおり指定色紺色反射文字にて熱転写シート印刷をするものとする。
袖	前身頃上部と一体式とし、後身頃とはラグラン袖式とする。 袖口には、ゴムを内包し、スーピーを付けマジックテープにて、絞られるようにする。裏地は袖口に挟み込む。
脇継ぎ	前身頃、後身頃の脇部と袖下を縫合し、更に樹脂面より樹脂テープにて溶着する。
裾	2.5cm の三巻き縫いとする。裏地は裾より 3.5cm 上部に三巻き縫いとする。
フード	共地で二枚剥ぎとし、前端部は 2cm の三巻き縫いとし、紐を通しその先端部にコードロックを付け絞れるようにする。 本体は衿に収納できるものとする。

4．縫製（ズボン）

区　分	仕　　様（規格）
腰　部	腰部は 3cm の三折り縫いとし、3cm の平ゴムを内包する。
裾	裾外側にファスナーを縫着し、水除け布をファスナーの上に縫着させるものとする。 裾は 1.5cm の三巻き縫いとし、丸ゴムを内包させる。 裏地は裾ファスナー上部までの半メッシュとする。

５．バックプリント

背ヨークに下記の指定デザインを反射ネイビーにて圧着プリントする。

＜W330mm×H79mm＞　文字：丸ゴシック（太文字）※上段と下段、文字の長さを揃えること。

[別紙１]

（１）　生地規格

項　目	規　格	試験方法
品名・品番	ナイロン合成樹脂コーティング 東レ・エントラント＃SC26	
原料混紡率	ナイロン 100%	JIS L 1030
加工方法	防水透湿合成樹脂コーティング	
質量　g／m2	80～95	JIS L 1096
密度 本／インチ	タテ　115 以上 ヨコ　85 以上	JIS L 1096
収縮率 %	タテ　3.0 以内 ヨコ　3.0 以内	JIS L 1042
引張強力 Kgf/5cm 間	タテ　60 以上 ヨコ　40 以上	JIS L 1096 ストリップ法
引裂強力 gf	タテ　1100 以上 ヨコ　800 以上	JIS L 1096 ペンジュラム法
耐水度 kg/cm2	初期　1.5 以上 洗濯 10 回後　1.0 以上	JIS L 1092
撥水度	洗濯 10 回後　80 以上	JIS L 1092
透湿度 g/m2/24 時間	4000 以上	JIS Z 0208
染色堅牢度	耐光　4 級以上 洗濯　4 級以上 摩擦　4 級以上 汗　4 級以上	JIS L 0842 JIS L 0844A-2 JIS L 0849Ⅱ形 JIS L 0848A 法
色　相	提示見本とおり	

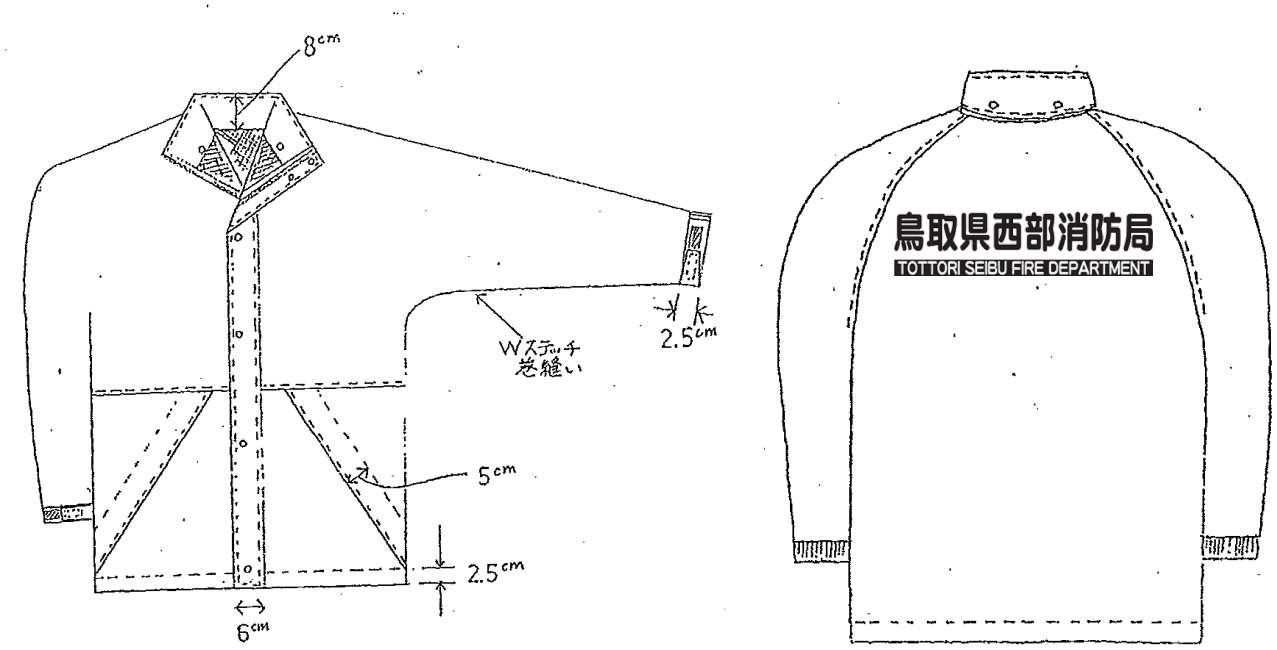
（２） プリント規格

試験項目		規格	試験方法
耐洗濯性	外 観	良	JIS 0217 103 法 5 回 吊干し
	変退色	４級以上	
洗濯堅牢度（級）	変退色	４級以上	JIS 0844 A-2 号
	汚 染	４級以上	

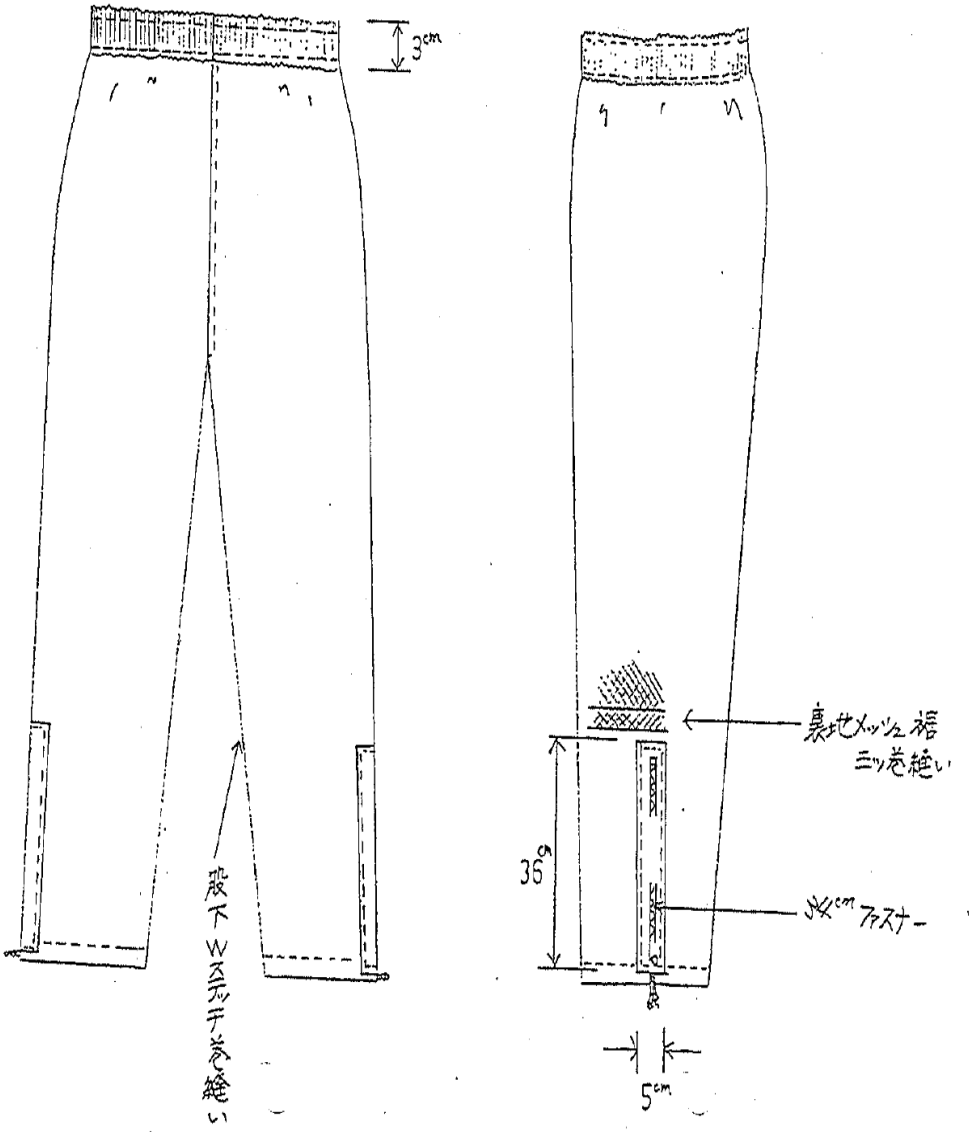
プリント方法	熱転写シート印刷
プリント色	指定色（紺色）反射
プリント位置・サイズ	後身頃上部 縦 35mm×横 155mm 以内 縦 50mm×横 310mm 以内
転写条件	① 空押し温度 約 170℃ 圧力 250g／㎠ 時間 約 5 秒 ② 転写温度 約 170℃ 圧力 250g／㎠ 時間 約 15 秒 ①の条件で、まず生地に対し空押しし、②の条件で転写し、冷却後ペーパーを剥がす。 このペーパーを裏返し、転写面に合わせ②の転写条件で再転写する。
注 意	熱転写による生地のしわなど、外観がそこなわれないようにすること。

<参考図>

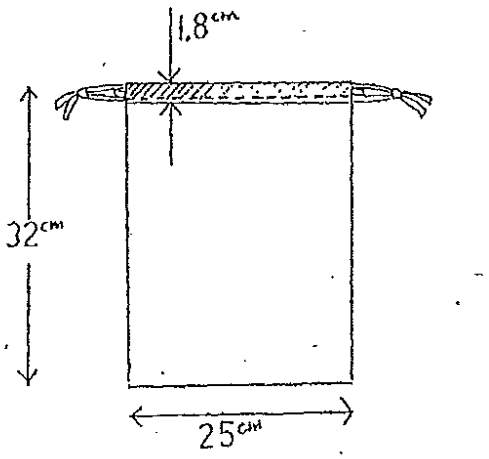
[上衣]



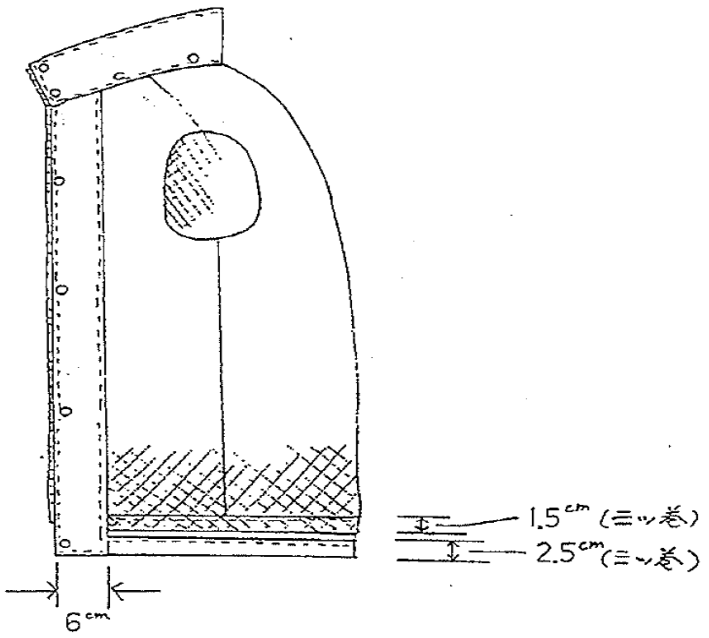
[ズボン]



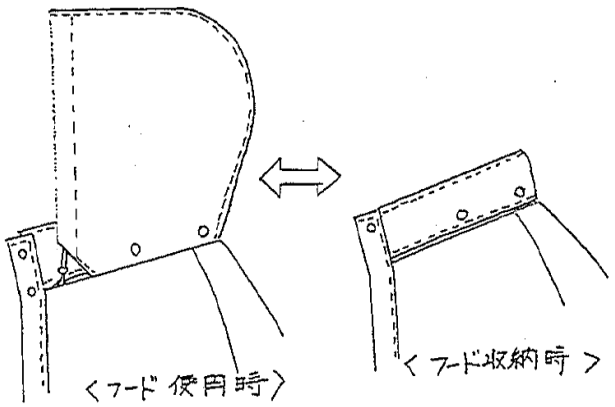
[袋]

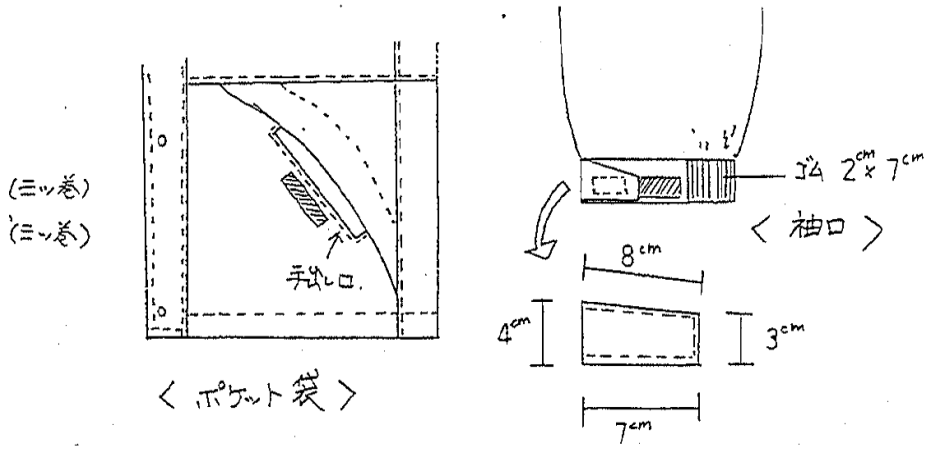


[上衣裏面]



[フード・ポケット]





１２ ブルゾン（消防防寒衣）

仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．材　料

区　分	仕　　様（規格）	
表　地	規格	東レ　KU2467 ヘリンボン
	品質	ポリエステル 100%
	色	C/#　K5（濃紺）
	糸番	経 SD75dt／36　緯 B150dt／72
裏　地	T42653　C/#　N-1	
袋　地	裏地を使用すること。	

２．型　式

ジャンバー型、前ファスナー式、ドット釦止め、フード付、裾ゴム入り両腰片玉緑ポケット雨ブタ付（別図のとおり）

３．条　件

区　分	仕　　様（規格）
針　数	3cm 間で地縫は 10 針以上、飾りは 11 針以上、オーバーロックは 8 針以上とすること。
ファスナー・ドット釦・マジックテープ・ゴム	全て良質のものを使用すること。
裁　縫	糸調子は、上下糸とも、ツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。 縫糸は、テトロン糸を使用すること。

４．縫製要領

区　分	仕　　様（規格）
衿	①二重衿とし、内衿はスタンドカラーとし、内側はジャージを付ける。 ②外側の衿部裏にフードを収納し、ファスナーで開閉する。 ③衿の付根に指定の衿吊りを縫い込む。
ポケット	①両腰部のポケットは片玉緑とし、雨ブタを付けドット釦で止める。 ②ポケット内部は指定のフリースを付け保温性を高める。
内ポケット	上前身頃裏にファスナー式ポケットを設け、さらに内側に携帯電話入れポケットを設け、仕切りを入れる。
身頃	①前立て内側は、ファスナー式とし、表側はドット釦（8 個）で止める。 ②両肩に肩章を付け、先をドット釦で止める。 ③裾は、ゴム入りとする。
袖	二枚袖とする。

袖口	カフス部は、ゴム入りシャーリングとしマジックテープで調整する。
裏仕用	総裏とし、胴裏・袖裏・ポケット裏に指定のフリースを使用する。
サイズ	衿下中央にはさみ込む。
品質表示	脇部下部にはさみ込む。
片布	上前身返し裏に縫い付ける。
バックプリント	別図指示のとおりホワイト反射（LF-7000）にて反射圧着プリントとすること。文字は丸ゴシック体とする。 なお、詳細については、契約後受注者と別途協議とする。
ネーム	左胸指定の位置に、2.5cm×4.0cm のマジックテープ製のネーム台を縫付け、別途黄金色の糸で刺繍した同じ大きさのネームを取り付けること。

[別図]

＜W330mm×H79mm＞

※文字：丸ゴシック（太文字）

※上段と下段、文字の長さを揃えること。

５．裁断及び縫製等

（１）裁断及び縫製仕上げにあたり、洗濯等により著しく収縮変形のない方法を講ずること。

（２）針数は地縫い、飾り縫いとも、1cm 間 4 針以上とすること。

（３）ドット釦は、15mm を使用すること。

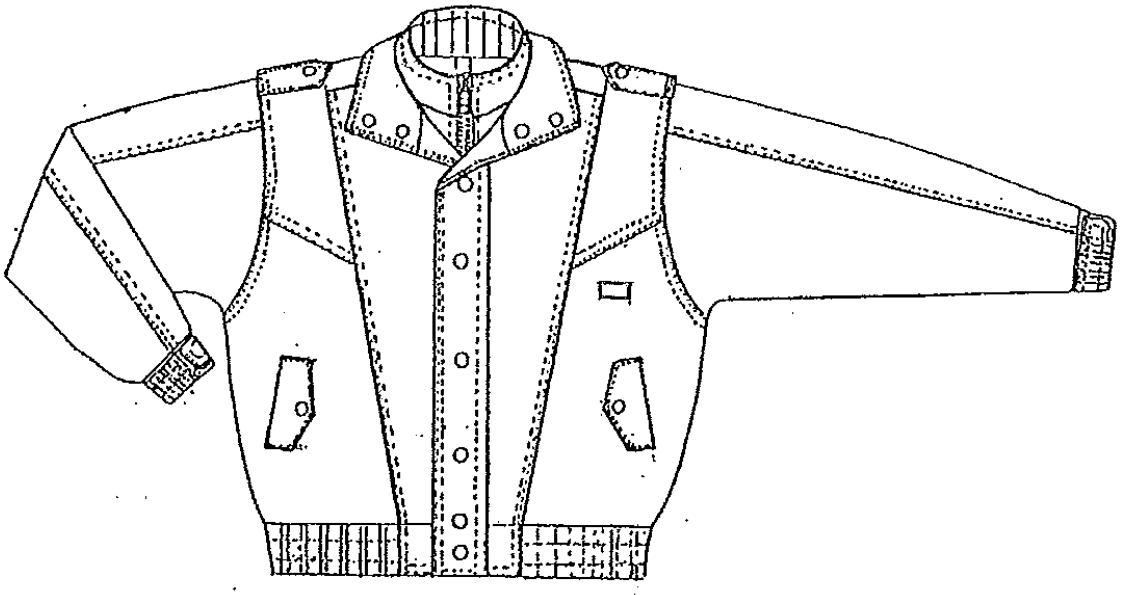
（４）縫い糸は、表縫い糸（テトロン糸 50 番）地縫（テトロン糸 50 番）とすること。

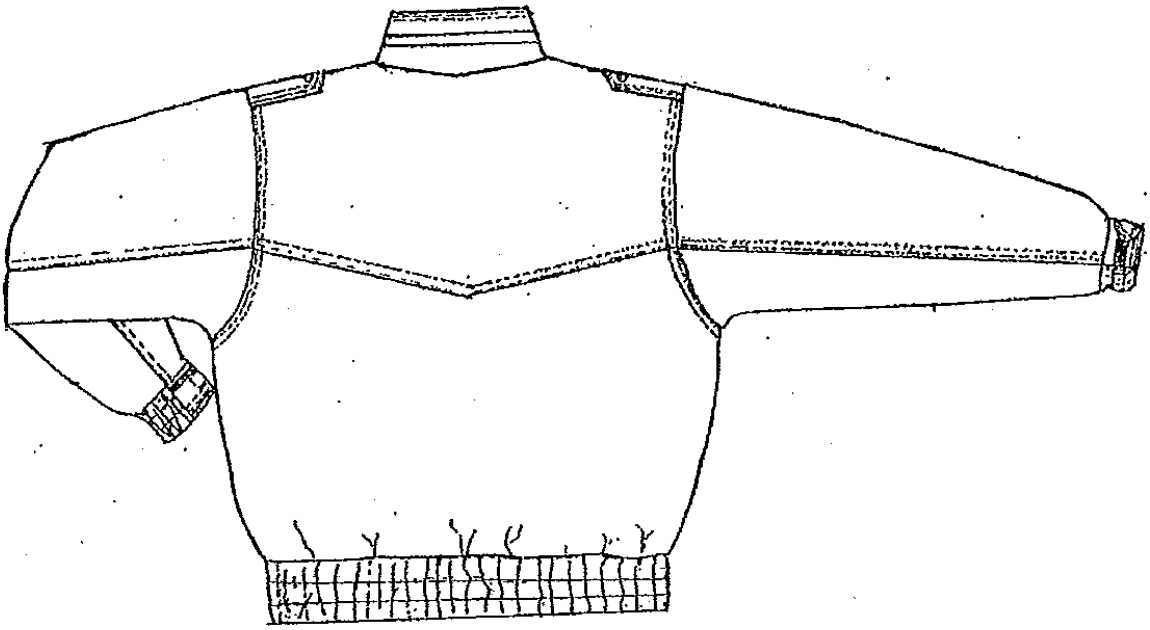
（５）裁断各部とも、逆毛裁、衿以外の箇所の斜裁は、認めない。

（６）仕上げは、糸くずを取り丁寧にプレスすること。

（７）ミシンの調子は、上糸、下糸ともツレ、タルミのないこと。

<参考図>





１３　コート型ブルゾン（制服用防寒衣）

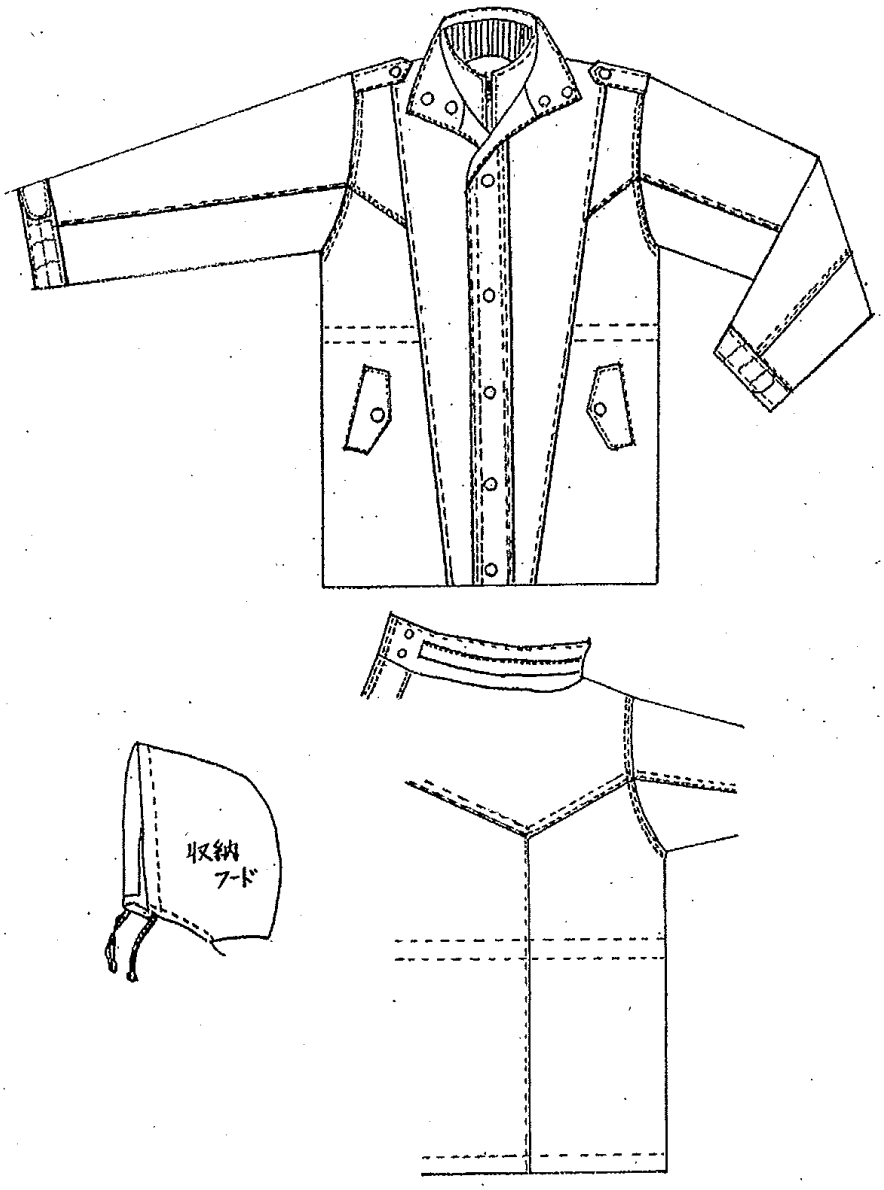
仕様については、消防吏員服制基準（昭和４２年２月３日消防庁告示第１号）に定めるもののほか、次による。

１．材　　料　　ブルゾン型防寒衣の仕様と同じ。

２．型　　式　　ハーフコート型、前ファスナー式、ドット釦止め、フード付、腰部スピンドル紐入り、両腰片玉緑ポケット雨ブタ付（別図のとおり）

３．条　　件　　防寒衣（ブルゾン型）の仕様と同じ。
ただし、ネーム、ネーム台及びバックプリントは、不要とする。

４．縫製要領　　防寒衣（ブルゾン型）の仕様と同じ。

５．裁断及び縫製等　　防寒衣（ブルゾン型）の仕様と同じ。

＜参考図＞